



中部大学春日丘高校

平成28年度 第1回 運営指導委員会 開催報告

● 運営指導委員会の開催

SGH指定校は校外に運営指導委員を委任することが定められています。本校では春日井市の企業、行政機関、教育機関などに運営指導委員をお願いし、取組について報告しご助言をいただいています。7月2日(土)には本年度第1回の運営指導委員会を開催しました。

◆ 日時

7月2日(土) 11:00~12:20

◆ 出席者

運営指導委員 5名

木野瀬印刷株式会社 木野瀬 吉孝 委員

CKD 株式会社 河口 悟 委員

青年海外協力協会 奥田 ひとみ 委員 (代行)

春日井市教育委員会 山田 勝史 委員

春日台特別支援学校 椎葉 林蔵 委員

(欠席 名古屋市立大学 別所 良美 委員)

二村校長、太田副校長 ほか9名

◆ 運営指導委員会議事内容

1、運営指導委員自己紹介

運営指導委員をお引き受けいただいている委員の皆様から自己紹介がありました。

2、学校長挨拶

校長より日頃のお礼と本校の現状について説明しました。

3、事業報告

本年度のSGH取組みについて担当の星野より説明をしました。

1年目の反省を活かし、グローバル課題研究では導入期にアクティブラーニングを中心としたカリキュラムを開発していることや、関連科目(クリティカルライティング、イングリッシュプレゼンテーション、ロジカルシンキング)では横断型でグローバル課題研究の内容に関連付けて授業を進めていることなど新しい取組みについても報告しました。



4、ご指導及びご助言

事業報告を受け、委員の皆様よりご助言をいただきました。

木野瀬委員からは、「生徒がやらされている感がないものにはなくてはならない。中部大学では不言実行館を利用し、社会の現状を知るとともに大学生のプレゼンテーション能力を上げるため、企業を呼んでプレゼンテーションをしてもらおう「技マルシェ」というものを企画しています。」とご助言いただき、本当の発信力について考えなくてはならないと感じました。

河口委員からは、企業での現状として「最初は海外に行けますと言っていた社員が、実際に働きだすと尻込みをしてしまう。右肩上がりの開発途上国の環境で仕事ができるやりがいを感じてもらいたい。」とご助言いただき、実際の現場で活躍できる人材育成を意識する必要性を感じました。

山田委員からは、春日井市教育委員会の目線から「春日井市では小学校の教員3名をこの夏マレーシアに派遣し小学校の英語教育についての研修を行う。」というお話いただき、今後さらにグローバル教育が進んでいくことを感じ、本校SGH活動もさらにブラッシュアップさせていく必要がありそうです。

椎葉委員からは批判的思考力について質問がありました。すべてのことが整わないと動けない大学生が多くなっていく現状があり、物事を多面的にとらえ、自ら動ける人材を育成していく必要があると感じました。

奥田委員からは、「青年海外協力隊の知見を活用してほしい。」とご指導いただきました。高校生と年齢の近い若者たちが、どうして国際協力の道を選び、今は何をしているかを聞くことで、世界に出ることへの憧れが生まれるきっかけができるのではないかと感じました。

各委員の皆様からいただいた意見は、今後のSGH活動の改善に活かさせていただきます。



5、その他

運営指導委員会は年に2回開催しています。次回は3月4日(土)に開催します。